

用語集

75%水質値

年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ $0.75 \times n$ 番目(n は日間平均値のデータ数)のデータ値をもって75%水質値という。(0.75 $\times n$ が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値とする。)

BOD (生物化学的酸素要求量)

河川水や工場排水、下水などの汚濁の程度を示すもので、水中に含まれる有機物が微生物によって二酸化炭素や水などに分解されるときに消費される酸素の量をいう。

単位はmg/Lで表示され、数値が大きくなるほど汚濁が著しくなる。

COD (化学的酸素要求量)

海域や湖沼の水の汚濁の程度を示す指標の一つで、酸化剤によって水中の有機物が二酸化炭素や水などに分解されるときに消費される酸素の量をいう。

単位はmg/Lで表示され、数値が大きくなるほど汚濁が著しくなる。

mg/L

水1Lの中にその物質が1mg含まれていることを示す。ppmとほぼ同じ値である。

汚濁負荷量

河川水などを汚濁する物質量をいい、主に「BOD(kg/日)」、「COD(kg/日)」等で表される。

家庭や工場排水などの汚濁源より排出される水量とその汚濁物質の濃度の積により計算される。

環境基準

人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準をいう。

現在、大気汚染、水質汚濁、騒音、航空機騒音、新幹線鉄道騒音及び土壌汚染等に係る環境基準が定められている。

環境基準点

類型指定された水域における環境基準の達成状況の年間評価を行う地点をいう。船橋市内には八千代橋（海老川、河川E類型）、船橋1（東京湾（3）、海域C類型）が設定されている。

環境基準補助点

都道府県知事が作成した測定計画において、環境基準点を補助する目的で選定された地点である。船橋市内には船橋2（東京湾（9）、海域B類型）が設定されている。

公共下水道

主に市街地の下水を排除し、または処理するために地方公共団体が管理する下水道をいう。終末処理場（下水処理場）を整備したもの、または流域下水道に接続するものがあり、汚水を排除する排水施設の大部分が地中に埋設されている。

公共用水域

水質汚濁防止法では、河川、湖沼、港湾、沿岸海域その他公共のように供される水域及びこれに接続する公共溝渠、かんがい用水路、その他公共の用に供する水路と定義されている。

ただし、下水道法に規定する公共下水道及び流域下水道であって、終末処理場を設置しているものを除くとされている。

したがって、川、海、湖等はすべて含まれるが、個人や会社の庭の池等は含まれない。

高度処理型合併処理浄化槽

通常の合併処理浄化槽の機能に加え、窒素やリンなどを除去する機能がある浄化槽をいう。

内部生産

植物プランクトンの増殖により有機物汚濁が生産されることをいう。植物プランクトンの増殖には窒素、リンが原因となっていることから、窒素、リンの抑制が必要となってくる。

全窒素

水中に存在する様々な形態の窒素化合物全体をいい、総窒素とも呼ばれて

いる。生活排水や肥料に含まれ、東京湾など閉鎖性の海域や湖沼に流入すると富栄養化の原因となる。

富栄養化が進むと藻類が異常増殖し、アオコ、赤潮等の原因になることから、海域や湖沼における水質の環境基準の一つとなっている。

全リン

水中に存在する様々な形態のリン化合物全体をいい、総リンとも呼ばれている。生活排水や肥料に含まれ、東京湾など閉鎖性の海域や湖沼に流入すると富栄養化の原因となる。富栄養化が進むと藻類が異常発生し、アオコ、赤潮等の原因になることから、海域や湖沼における水質の環境基準の一つとなっている。

面源系

市街地や農地、山林等の面的な汚濁負荷の発生源をいう。

透水性舗装

道路や歩道を間隙の多い素材で舗装して、舗装面上に降った雨水を地中に浸透させる舗装方式をいい、地下水の涵養や集中豪雨等による都市型洪水を抑制する効果があるため、主に、都市部の歩道に利用されている。

処理形態別原単位

合併処理浄化槽、単独処理浄化槽及び汲み取りからの汚濁負荷量を算出するために用いる係数。

(単位：g/人・日)

	BOD	COD	全窒素	全リン
合併処理浄化槽	3	5	5.5	0.64
単独処理浄化槽	38	23	7	0.90
汲み取り(生活雑排水)	32	17	2	0.30

BOD、COD：一次計画より

全窒素、全リン：第5期湖沼水質保全計画より